

南 湖 江 松
ク パー ノ ク テ

小松電機が進出

シートシャッター移転

制御機器メーカーの小松電機産業（島根県八雲村、小松昭夫社長）は、松江市などが造成した研究開発型企業団地「松江湖南テクノパーク」に研究所と新工場を建設する。主力商品のシートシャッターなどの研究、製造部門を本社工場から移転することにも、「人間自然科学研究所」を創設し、次代の事業展開を担う人材を育成する。工場、研究棟は同テクノパー

クの中央部に立地。一万千四百平方メートルの敷地に延べ床面積千八百平方メートルの研究所と同六千平方メートルの併設工場を建設する。投資額は十八億三千五百万円。九五一年一月に着工、同年十二月から操業する予定。研究、工場部門合わせて五十一人でスタートし、三年後には九十三人に拡充。この時点での同社の売上高は現在の三〇％増、四十五億円を見込んでいる。

研究部門は工場や倉庫の出入り口などに使うシートシャッター

「一門番」、上下水道制御監視システム「やくも水神」、環境電機機器や関連ビジネスの研究開発を担当。工場は「一門番」、「やくも水神」関連事業機材を生産する。八雲村の本社工場には環境電機機器の製造部門を残す予定。

「人間自然科学研究所」は将

来の事業展開をにらんだ組織。橋谷博元島根大学教授ら外部の学識経験者を顧問に迎え、現在の主力製品とは別のビジネステーマを探る。まず、地元の人と自然のかかわりなどを紹介する本を出版。これまでの技術交流の蓄積を生かし、教育研修事業にも乗り出す。

松江湖南テクノパークは松江市、玉湯町が研究開発型企業を誘致する目的で造成。小松電機産業が進出第一号となる。島根県も企業立地促進条例の技術先端型製造業として認定し、二億六千万円を助成、低利融資によって支援する。